

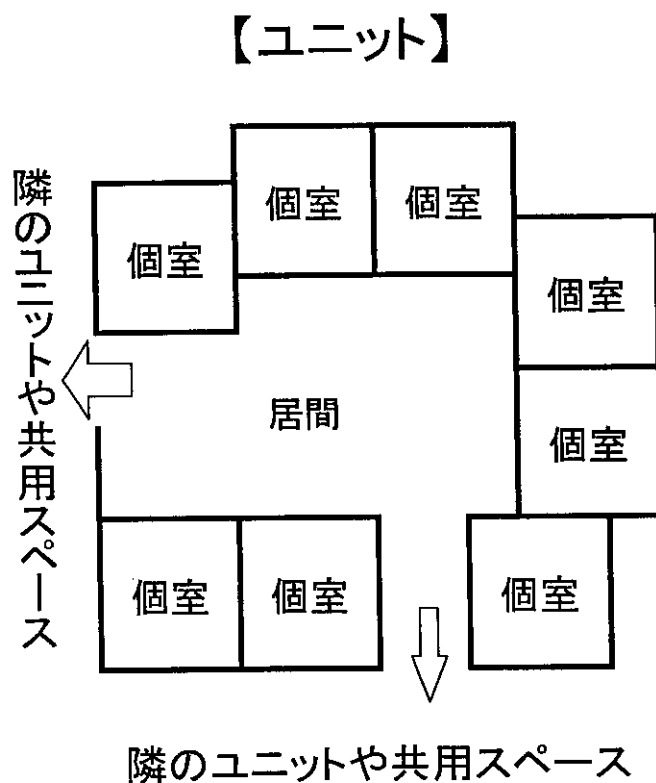
社保審—介護保険部会	
第12回 (H16. 4. 26)	資料4

## 委員からご照会いただいている資料等

- 特別養護老人ホームの個室・ユニットケア（山本委員） . . . . . 1
- 介護保険施設入所者の所得に関する状況（花井委員） . . . . . 16
- 小規模生活単位型特別養護老人ホームにおける居住費（花井委員） . . . 20
- 介護保険における福祉用具給付の判断基準に対する意見の募集 . . . . . 21
- 「家庭内における高齢者虐待に関する調査」概要 . . . . . 51

## 特別養護老人ホームの個室・ユニットケア

- 特別養護老人ホームを小単位の「ユニット」に分け、ユニットごとにケアを行う。
- できるだけ家庭に近い生活を送る。
- そのために、個室と居間からユニットを構成する。



14年度より、整備に対する国庫補助を創設。

15年度より、介護報酬、運営基準を設定。

15年度より、利用者は居住費を負担。

## 個室化の効果

- 集団生活の中にあって自分だけのスペースが保たれる。
- 他の者とのトラブルが発生しにくい。
- 面接者や老人ホーム内の友人、職員などとゆっくり話ができる。
- 入所間もない頃や危篤状態時に家族と一緒に生活できる。
- 身辺介護(排泄、着替え、清拭など)が行いやすい。本人も他の者への気兼ねをしなくて住む(自分で行う際も同様)。
- 居室において音の問題、一般に生活で生じる音はあまり気にしなくてもすむ。
- 高齢者痴呆症状、不穏状態、幻覚、幻聴などの症状、精神的異常行為が現れたとき、他の者への影響が少なくてすむ。

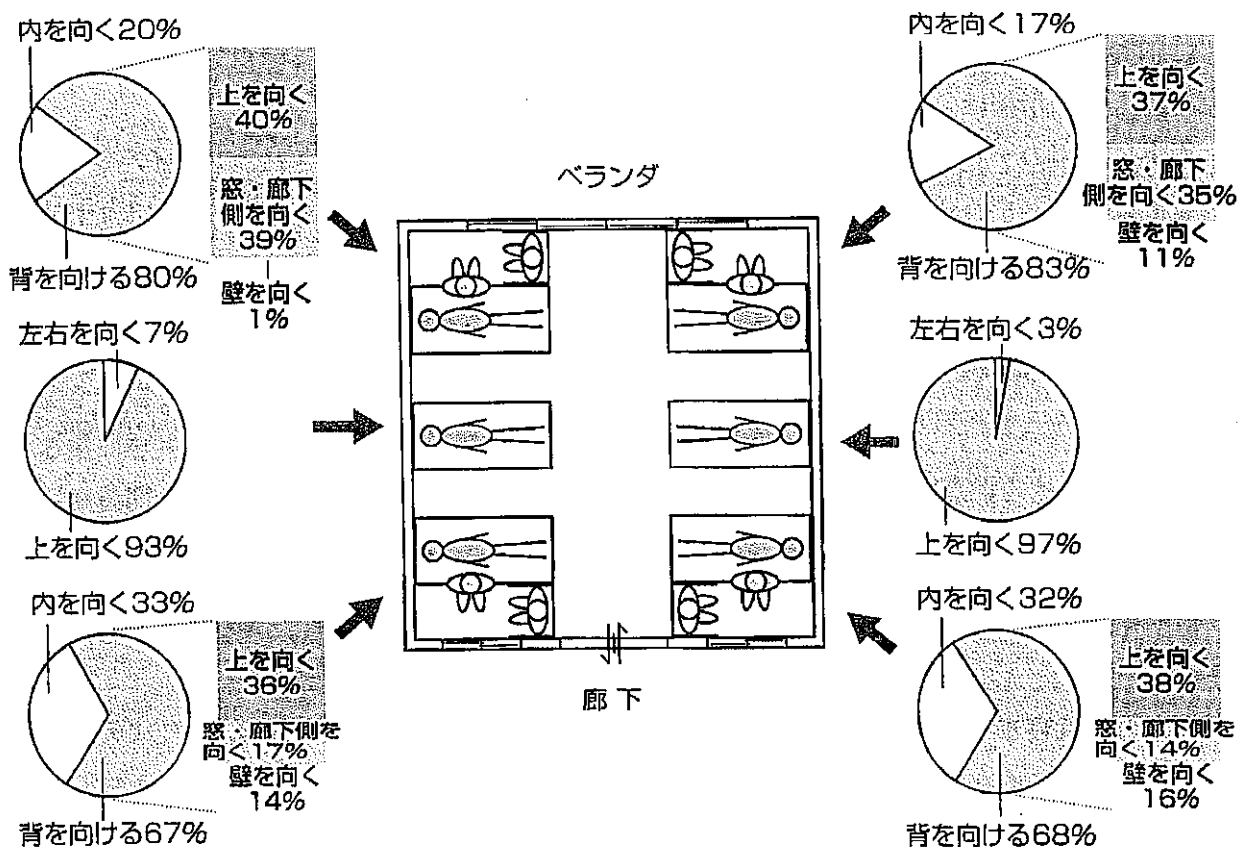
〔 日野原重明他:「新しい時代における特別養護老人ホーム」  
(日本船舶振興会・1990年10月)より 〕

# 個室・ユニットケアの効果

○ 大部屋での生活は、入所者にストレスを与える。

## 6人部屋の生活

- 入所者間の会話がほとんどない部屋は全体の2/3。
- ベッド上で同室者に背を向け、無関心・没交渉である場合が7割～9割。
- 同室者への遠慮からポータブルトイレの使用を抑制したり、感情を抑制して声が出なくなるといった生理的なストレスがみられた。



(出典：「個室化・ユニットケア 特養ホームはこう変わる」)

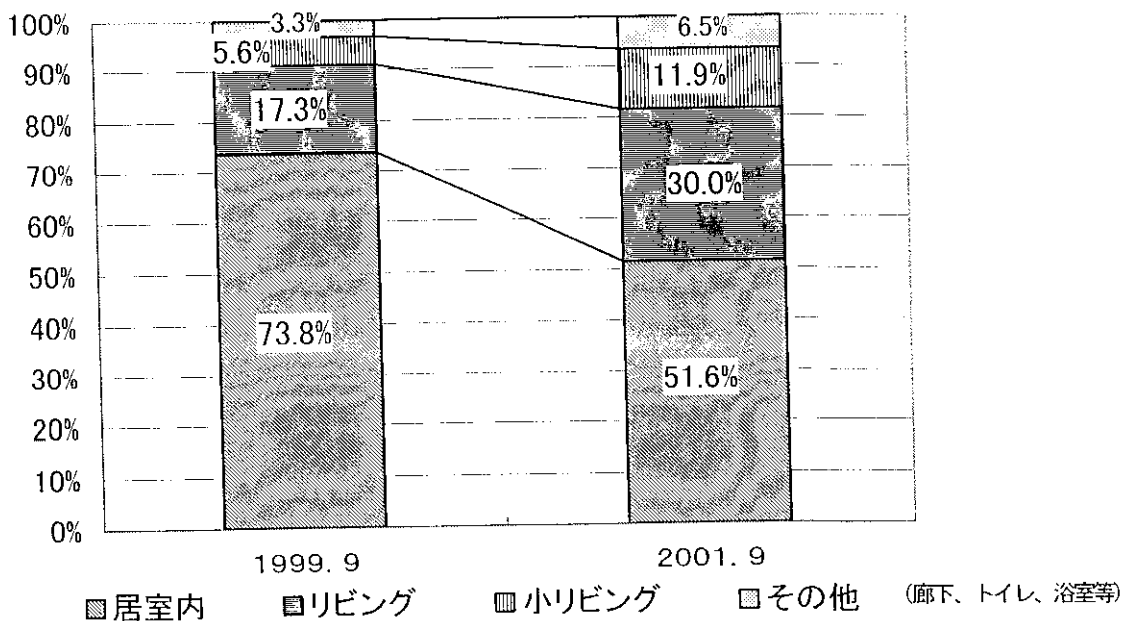
# ○ 個室化により、入所者の行動が変化し、生活が改善。

## 個室・ユニットケア導入後の入所者の生活の変化

\* 6人部屋の特別養護老人ホームを建て替え、個室・ユニットケアを導入した後の入居者の生活の変化を調査。

### ① 日中の滞在場所は「ベッド」から「リビング」へ。

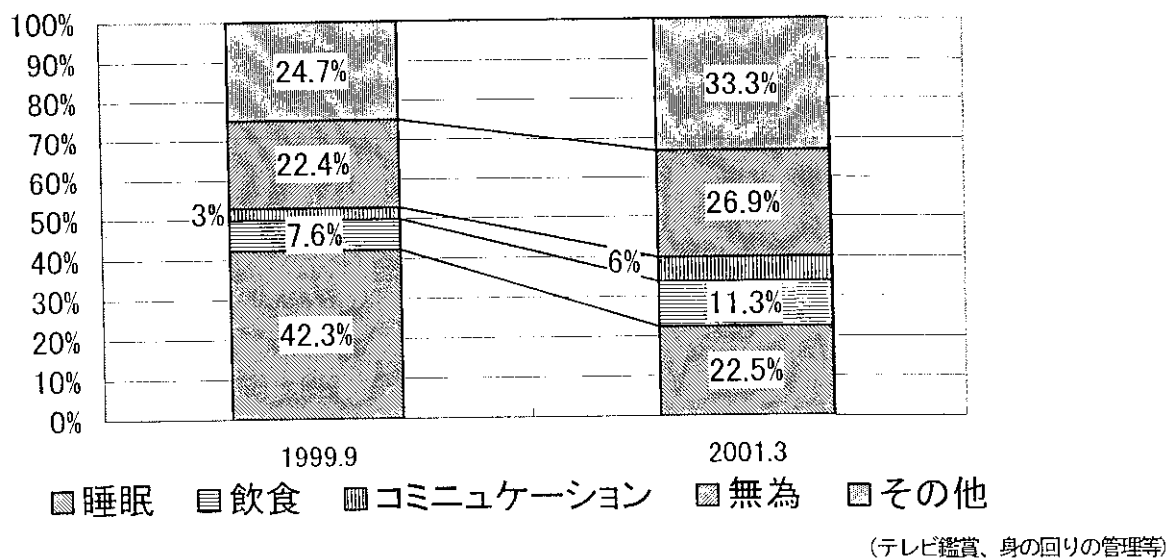
- ・居室内での滞在は減少（日中の時間の約7割→約5割）
- ・リビングや小リビングでの滞在が増加（日中の時間の約2割→約4割）



\* 午前7時から午後7時までの入所者の滞在場所を調査

② 「コミュニケーション」の時間が増加。姿勢が横たわりから座位へ。

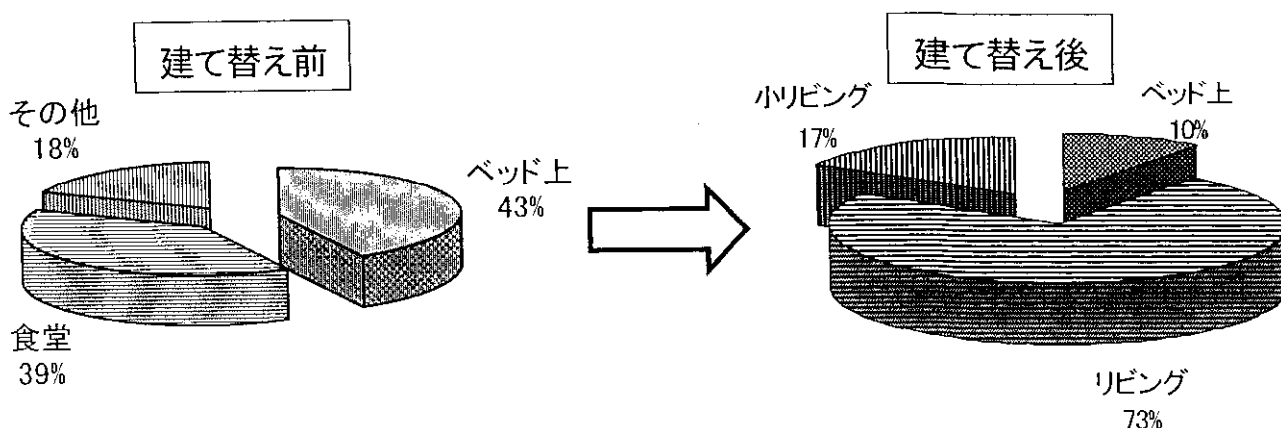
- ・ 日中の睡眠が約4割→約2割に減少。
- ・ コミュニケーションや食事の時間が増えるなど、姿勢が横たわりから座位へ。



\*午前7時から午後7時までの入所者の行為を調査

### ③ ベッド上での食事から、リビングでの食事へ。

- ・ベッド上での食事が約4割→約1割に減少。また、食堂での食事が約4割を占めていたところ、約9割がリビング・小リビングで食事をするようになり、生活にメリハリができた。



### ④ 食事の摂取量が増加。

- ・一人当たり残飯量が92g→43gに減少し、逆に一人当たり食事摂取量が1,463Kcal→1,580Kcalへと増加。

### ⑤ 排せつの変化。

- ・ポータブルトイレの設置数が29台→14台に減少し、排せつが改善。

\* 『介護保険施設における個室化とユニットケアに関する研究報告書』（平成13年3月、医療経済研究機構）・『普及期における介護保険施設の個室化とユニットケアに関する研究報告書』（平成14年3月、医療経済研究機構）による。

## ○ 重度者の場合の個室の効果

- 重度の人の特性に応じたきめ細かなケアが可能になる。
- インフルエンザ、結核、疥癬などの感染症の伝染を防ぐのに有効である。  
(米国厚生省疾病管理・予防センターによる)
- 高齢者痴呆症状、不穏状態、幻覚、幻聴などの症状、精神的異常行為が現れたとき、他の者への影響が少なくてすむ。  
(日野原重明他:「新しい時代における特別養護老人ホーム」(日本船舶振興会・1990年10月)による)
- 家族が周囲に気兼ねなく訪問できるので、家族関係が深まることにもつながる。特に、臨終に際しても住み慣れた居室で迎えることができる。





○ 高齢者介護においては、生活の継続性を重視することが求められている。

○ 高齢者のいる世帯の1人当たり平均室数は約2室であり、施設でも、個室で暮らすことが、生活の継続性という観点から望ましい。

(参考) 一人あたりの居住室数

総数	1.0~1.3 室未満	1.3~1.6 室未満	1.6~2.0 室未満	2.0室以上	平均(室)
13,979	1,787 (12.8%)	2,395 (17.1%)	1,166 (8.3%)	6,731 (48.2%)	2.3

(注) 65歳以上の世帯員のいる普通世帯数

資料:平成10年住宅需要実態調査

○ 個室化は工夫すれば、所要面積が増えるわけではない。

○ 個室・ユニットケアは、居室や生活の場を通じて高齢者の生活機能を維持し高めるケア。

○ 生活の場で自立機能を高めることが重要。

高齢者リハビリテーション研究会報告書「高齢者リハビリテーションのあるべき方向」より抜粋

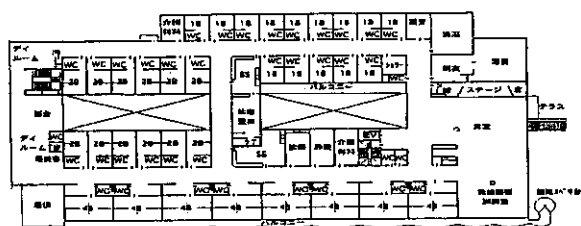
…現在、特別養護老人ホームにおいて実施することとされている機能訓練については、施設が定めた日課の中で訓練室を用いて行うのではなく、ひとりひとりの日常生活の中で、できるだけ実生活に近い居住環境の下、例えば、食事をしたり、衣服を脱いで入浴したり、居室からトイレに歩行したりといった活動を高めていく取組が重要である。

なお、新たに制度化されたユニットケアは、入居者の生活そのものをケアとして組み立てる手法であり、こうした取組に最も適したものと考えられる。

○ 個室・ユニット化に伴い食堂、静養室、機能訓練室等は設置する必要がなくなり、また、廊下幅についても緩和していることから、工夫すれば建物全体の床面積が過大になることはない。

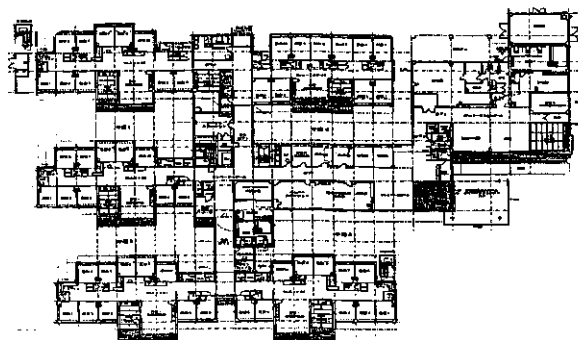
## (参考)ユニットケア型と従来型の施設の実例の比較

〔従来型〕



- ・入所定員 70名
- ・1人当たり延床面積  
54.67m<sup>2</sup>

〔ユニットケア型〕



- ・入所定員 100名
- ・1人当たり延床面積  
54.95m<sup>2</sup>

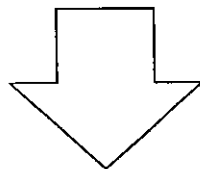
## 補助金の効率的な活用

- ユニットケア型特別養護老人ホームの整備により、従来型よりも多くのベッド数を整備できる。

### ○特別養護老人ホームの施設整備費国庫補助金

(平成16年度予算案(B地域・標準))

- ・ ユニットケア型 定員1人当たり 250万円
- ・ 従来型 定員1人当たり 355万円



従来型1万人分の整備に対する国庫補助金額で、  
ユニットケア型1.4万人分を整備できる。

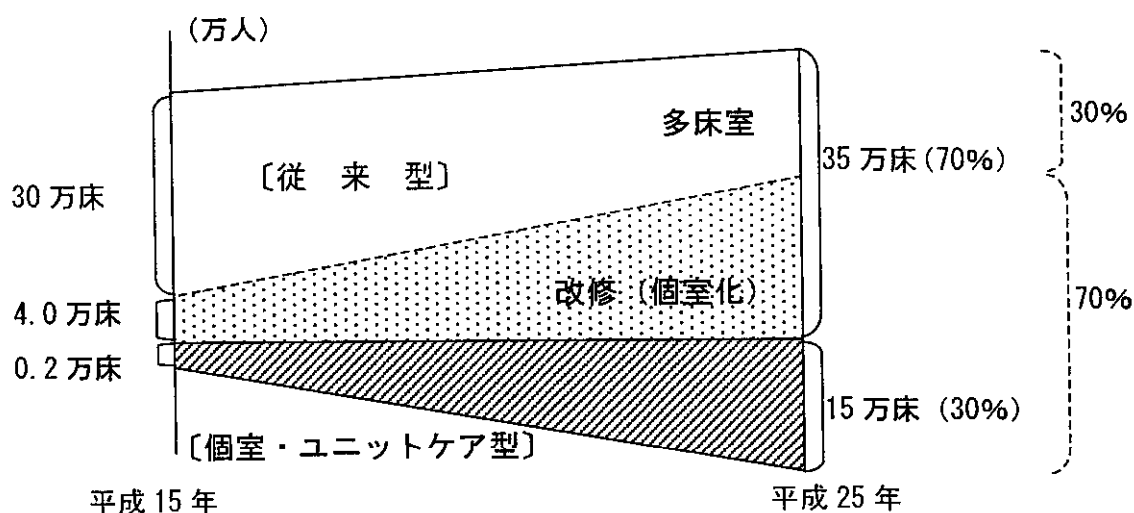
## 今後の施設整備の方向性

○ 新設する特別養護老人ホームは、個室・ユニットケア型が基本。

○ 選択の幅という意味で、従来型とユニットケア型が半分ずつになるまでは、ユニットケア型を基本として整備。

○ 現状のペースで行くと、平成25年時点でも、個室・ユニットケア型の利用者は全体の3割にとどまる。(従来型の中の個室を含めても約4割。)

### 〔イメージ図〕



(注1) ユニットケア型については、平成15年度における新規着工分(約15200人分)が今後平成24年度まで継続すると仮定。

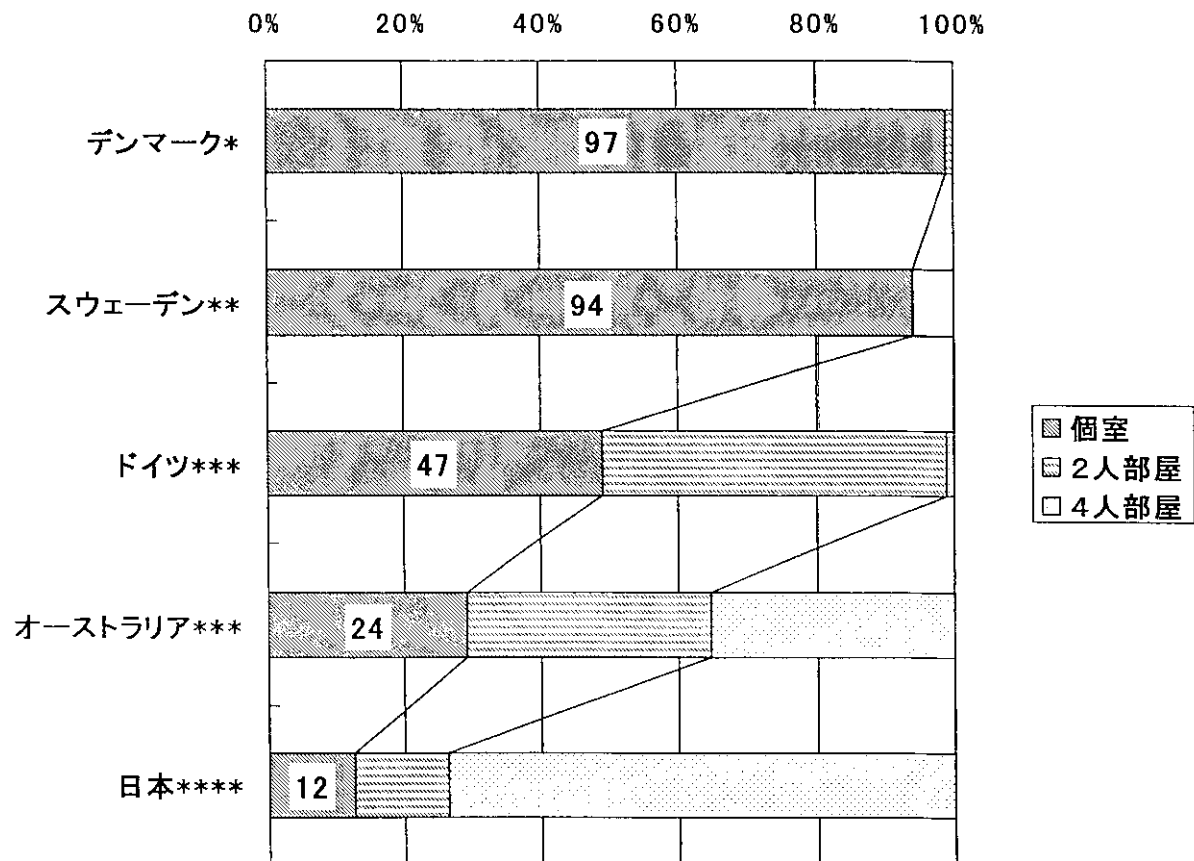
(注2) 従来型については、平成15年度における新規着工分(約840人分)が今後平成24年度まで継続すると仮定。

(参考)

## 諸外国との比較

○ 我が国の高齢者施設における個室定員の割合は、諸外国に比べて低い。

### 居室別の定員数の割合



\*Georg Gottschalk 'Boligstandarden i plejehjem og andre institutioner' SBI Rapport 249、Statens Byggeforskningsinstitut, Horsholm Danmark, 1995  
夫婦用2室接続型を含む

\*\*Nationell handlingsplan for aldrepolitiken slutrapport, Socialstyrelsen 2002  
Aldre vard och omsorg, Socialstyrelsen, 2000,2001,2002

\*\*\*OECD調べ

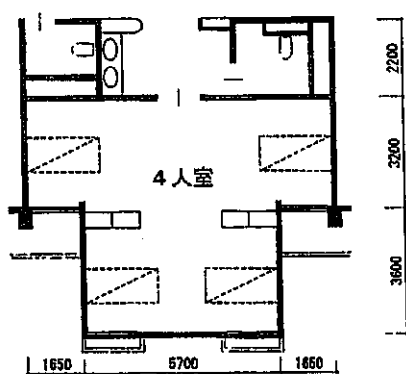
\*\*\*\*特別養護老人ホーム

既存の特別養護老人ホームの改修を支援。

- 既存の特別養護老人ホームが個室・ユニットへ改修することを支援。
- このため、改修方法のマニュアルを作成、配布。

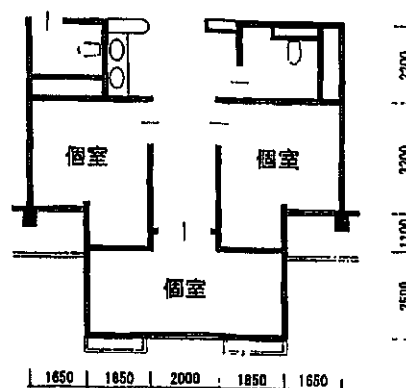
(参考)マニュアルの掲載例

【現状:4人室】



[改修前] 1/200

【3つの個室に改修】



[改修後] 1/200

## ユニットケア技術の向上

- ユニットケアには高いケアの技術が必要。
- 一方、現場では、ユニットケアに取り組みたいという要望が大きい。
- ユニットケアについての研修を実施。

### ○ 管理者への研修

- ・組織管理の手法を修得

ユニット毎の勤務体制の整備

施設内研修の内容 等

- ・年間200名程度。

### ○ 職員への研修

- ・痴呆性高齢者との意思疎通を図る等の技術を高める。

- ・年間200名程度。